

# 変更・訂正箇所

変更・訂正箇所は、次ページ以降の該当箇所を各自で朱書き訂正してください。

(2020. 7. 21 訂正箇所)

P33 私費外国人留学生選抜

「選抜方法等」における配点を示した表内「日本留学試験」字句の下の表記

訂正前：令和2（2020）年6月実施分又は11月実施分のいずれか

訂正後：令和元（2019）年6月実施分若しくは11月実施分又は令和2（2020）年6月実施分又は11月実施分のいずれか

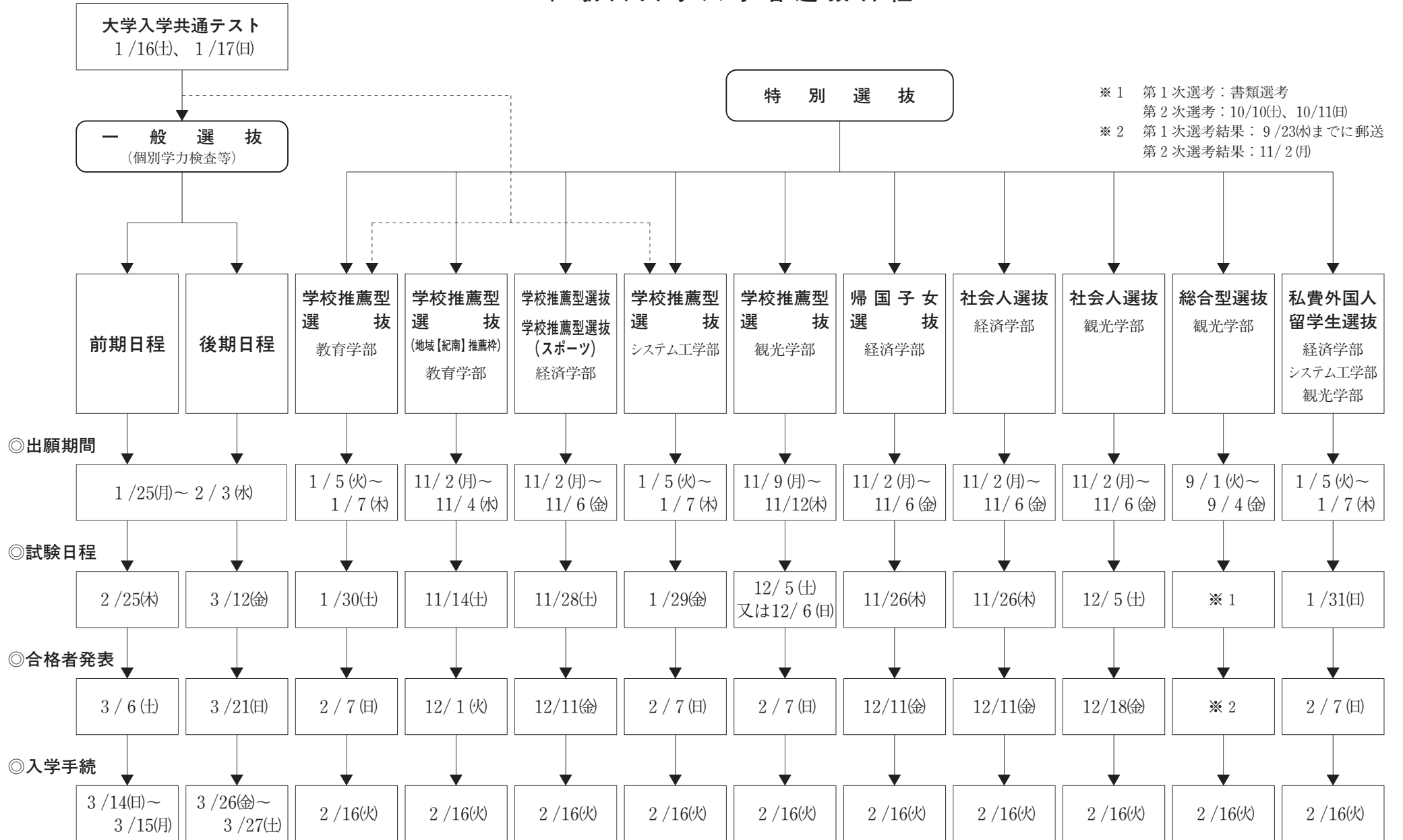
# 令和3年度

## 和歌山大学入学者選抜要項

### 重 要

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、本選抜要項に記載されている各選抜の選抜方法を変更し、実施することがあります。また、各選抜の出願期間や試験日等についても今後変更することや、場合により選抜等を中止することがあります。変更、中止することを決定した場合は、直ちに本学ホームページ「入試情報」の選抜要項の冒頭ページでお知らせします。

# 和歌山大学入学者選抜日程



# 目 次

和歌山大学入学者選抜日程	
入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー).....	1
入学定員及び募集人員.....	6
一般選抜.....	8
出願資格.....	8
出願上の注意事項.....	8
受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談.....	9
実施方式及び併願について.....	10
入学者選抜方法等.....	10
入学者選抜実施教科・科目等.....	11
教育学部実技検査内容.....	17
個別学力検査等実施教科・科目の試験時間.....	19
特別選抜.....	20
学校推薦型選抜(教育学部・経済学部・システム工学部・観光学部).....	20
帰国子女選抜(経済学部).....	28
社会人選抜(経済学部・観光学部).....	29
総合型選抜(観光学部).....	31
私費外国人留学生選抜(経済学部・システム工学部・観光学部).....	32
学生募集要項等の発表及び請求方法.....	34
学部紹介.....	37
入試に関する問合せ先.....	43

## 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

### 大学の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

#### 1. 求める学生像

高等学校あるいはこれに相当する教育機関等における学習や活動を通して、次の知識・技能、能力、態度を有する人を求める。

##### (1)知識・技能

- ・大学入学後の専門を学ぶための基礎となる知識・技能を有する人

##### (2)思考力・判断力・表現力

- ・課題解決に取り組むための基礎となる思考力・判断力・表現力を有する人

##### (3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・多様で広い知的関心を持ち、他者と関わって、主体的に学ぼうとする意欲や態度を有する人
- ・身につけた知識や技能を活用し、課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

#### 【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、各学部の専門教育及び教養教育を学修することができるレベルにまで資質・能力を高めることを期待する。

#### 2. 入学者選抜の基本方針

各学部の特性に応じて、求めている資質・能力を適切に評価することができる選抜方法により実施する。

### 教育学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

#### 1. 求める学生像

教育学部では、卒業後に学校教員への就職を志望する、次の各要素を備えた人物を求める。

##### (1)知識・技能

- ・これまでの学びを通して大学入学後の専門的知識を学ぶための基礎となる知識・技能を有する人

##### (2)思考力・判断力・表現力

- ・課題解決に主体的に取り組むための基礎となる思考力・判断力・表現力を有する人

##### (3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・多様で広い知的関心を持ち、他者と関わって学ぼうとする意欲や態度を有する人
- ・身につけた知識や技能を活用し、課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

#### 【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、生涯にわたって「学び続ける教師」として必要な基盤を獲得することを期待する。

## 2. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般選抜（前期日程）では、知識・技能については大学入学共通テスト及び個別学力検査等により、また、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接により評価し、入学者を選抜する。
- (2)一般選抜（後期日程）では、知識・技能については大学入学共通テストにより、また、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接により評価し、入学者を選抜する。
- (3)学校推薦型選抜では、学校教育に興味を持ち、教職を目指す者として出身学校長より推薦を受けた者のうち、知識・技能については大学入学共通テストにより、また、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接並びに出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (4)学校推薦型選抜（地域【紀南】推薦枠）では、学校教育に興味を持ち、教職を目指す者として出身学校長より推薦を受けた者のうち、知識・技能については小論文により、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度については面接並びに出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。

## 経済学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

### 1. 求める学生像

これまでの学びの機会を通して、次の知識・技能、能力、態度を身につけようとしてきた人を求める。

#### (1)知識・技能

- ・社会の複合的な課題を発見・理解するための幅広い基礎的知識を有する人

#### (2)思考力・判断力・表現力

- ・認識した課題を分析・解決するための思考力・判断力・表現力を有する人

#### (3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・解に至る道筋を粘り強く考え続ける能力を有する人
- ・課題解決の実践にあたり、多様な人々と対話し、協働するためのコミュニケーション能力と意欲を有する人

### 【入学後の期待】

入学後には、自らがさらに努力を重ね、多くの人と関わり合いながら、経済・社会の活動に関わる諸問題に一層の関心を持ち、これまでに身につけた能力を磨くとともに、複数の専門領域を包摂した教育課程を通して、次の知識・技能、能力を身につけることを期待する。

#### (1)経済学、経営学、会計学、情報学、法学などを中心とした専門知識

#### (2)専門知識を領域横断的に活用した理解力、思考力、表現力

#### (3)主体的に学び、考え、多様な人々と協働する能力

## 2. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストと個別学力検査等により入学者を選抜する。  
大学入学共通テストにおいては、高等学校等で学ぶ各教科の基本的な知識を評価する。なお、

商業に関する知識・技能・思考力を備えた人材を選抜するために、商業関連科目の選択を認める。個別学力検査等においては、英文を含む総合問題と数学又は簿記の知識・技能・思考力を問う総合問題を課し、社会科学を学ぶ上で必要な知識、並びにそれを活用する能力を備えているかを評価する。

- (2)一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テストと個別学力検査等により入学者を選抜する。大学入学共通テストにおいては、外国語の理解力と特定分野の知識を、優れた成績を取めた科目に配慮し評価する。個別学力検査等においては総合問題を課し、論理的に考え、判断し、論述する力を評価する。特に、社会科学を学ぶ上で必要な知識、並びにそれを活用する能力を重視する。
- (3)学校推薦型選抜では、高等学校等において身につける学力のうち、基本的な知識の修得状況と学ぶ意欲、社会科学を学ぶ上で必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）、他者との議論や協働的な活動の礎となるコミュニケーション能力を、それぞれ出願書類、小論文、及び集団討論により評価し、入学者を選抜する。
- (4)学校推薦型選抜（スポーツ）では、高等学校等において身につける学力のうち、社会科学を学ぶ上で必要な理解力（読解力）・論理的な思考力・表現力（文章力）を小論文により評価する。これに加えて、基本的な知識の修得状況、顕著な成績を取めたスポーツ活動において培われた主体性や多様な人々と協働する力、及びスポーツの実践、普及、振興についての関心を出願書類と面接により評価し、入学者を選抜する。
- (5)社会人選抜では、高等学校等の卒業後の社会人経験とそこから得た知見、及び生涯にわたり学び続ける姿勢などを出願書類及び面接により評価し、入学者を選抜する。
- (6)帰国子女選抜では、諸外国での学びと日本における学びのためになされた種々の活動を面接と出願書類により評価し、入学者を選抜する。
- (7)私費外国人留学生選抜では、諸外国での学びを通して得た基礎的な知識と日本に留学するにあたってなされた学びの成果を日本留学試験と出願書類により評価する。あわせて日本語の運用能力を面接により評価し、入学者を選抜する。
- (8)第3年次一般編入学選抜では、他大学等での学修により身につけた経済学・経営学などに関する知識とそれを活用する思考力・判断力・表現力、及び英語の運用能力をそれぞれ小論文と出願書類により評価する。あわせて、他者と協働・協調する力、あるいは他者をリードする力を面接により評価し、入学者を選抜する。
- (9)第3年次推薦編入学選抜では、他大学等での学修により身につけた経済学・経営学などに関する知識とそれを活用する思考力・判断力・表現力、及び英語の運用能力を出願書類により評価する。あわせて、他者と協働・協調する力、あるいは他者をリードする力を面接により評価し、入学者を選抜する。

## システム工学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

### 1. 求める学生像

システム工学部において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

#### (1)知識・技能

- ・これまでの学びを通して大学入学後の複数の科学・技術領域を見通し、複合的に工学系分野の専門を学ぶための基礎となる学力・技能、特に理数系における確かな知識を有する人

## (2)思考力・判断力・表現力

- ・課題を解決するための思考力・判断力を有する人
- ・意見や考えを他者や社会に分かりやすく伝えるための表現力を有する人

## (3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・他者を尊重し、その意見を受け入れる柔軟性、協調性を有する人
- ・何事にも好奇心・探求心を持ち、創造力を身につけようとする真摯な態度を有する人

### 【入学後の期待】

入学後には、自ら学び考える力を持ち、次の観点から、学術・産業研究を含む広範な工学系分野で活躍する自律的な技術者を目指すことを求める。

- (1)自分自身の思い描くキャリアパスを客観的に考え、それに応じた2つのメジャーを選択すること
- (2)メジャーが提供する専門知識・技能を主体的に修得し、時代や社会が求める実践的な力を身につけること
- (3)異なる知識や技能を、断片的にではなく体系化して身につけ、課題を解決する能力へと高めること
- (4)課題解決に向けて、他者と協働して取り組む能力や意見や考えを論理的に伝えるコミュニケーション能力を身につけること

## 2. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般選抜（前期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、数学的思考力と英語の理解力を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。
- (2)一般選抜（後期日程）では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、システム工学を学ぶにふさわしい能力・適性を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜する。
- (3)学校推薦型選抜では、明確な目的意識をもって入学を希望し、かつ、出身学校長より推薦を受けた者のうち、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入学共通テストにより、目的意識や学修意欲などを面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (4)私費外国人留学生選抜では、日本に留学するためになされた学びの成果を日本留学試験、出願書類、面接により評価する。あわせて、入学後の学修に必要な理解力、論理的思考力、日本語運用能力を面接により評価し、入学者を選抜する。
- (5)第3年次推薦編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する基礎学力や専門に対する適性を面接と出願書類により評価する。あわせて、目的意識や学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。
- (6)第3年次一般編入学選抜では、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識などを学力検査により評価する。あわせて、高等専門学校等での学修により身につけた工学系学部に関する専門知識・技能や目的意識、学修意欲などを面接により評価し、入学者を選抜する。



# 観光学部 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

## 1. 求める学生像

観光学部において入学者に求める知識・技能、能力、態度は次のとおりである。

### (1)知識・技能

- ・観光学部における専門分野の学修に必要な基礎学力を有する人

### (2)思考力・判断力・表現力

- ・主体的かつ積極的に課題に挑戦するための基礎的な思考力・判断力・表現力を有する人

### (3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ・新しいものごとへの好奇心・探究心、多様な文化・歴史・地理・言語や現代の社会情勢に対する幅広い関心を持ち、他者と関わって学ぼうとする意欲や態度を有する人
- ・身につけた知識や技能を活用し、主体的かつ創造的に課題解決に取り組む意欲や態度を有する人

### 【入学後の期待】

入学時に求められる知識・技能、能力、態度をもとに、観光に関わる諸問題に一層の関心を持ち、観光学部の専門教育及び教養教育を学修することができるレベルまで資質・能力を高めることを求める。

## 2. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般選抜（前期日程）では、入学後の専門知識と教養を学ぶ基礎となる学力を大学入学共通テストにより、また、思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を個別学力検査等により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (2)総合型選抜では、入学後の学修に必要な思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を書類審査、指定された課題のプレゼンテーション、出願書類等に基づいた面接により多面的に評価し、入学者を選抜する。
- (3)学校推薦型選抜では、入学後の専門知識と教養を学ぶ基礎となる学力を大学入学共通テストにより、また、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲や態度を高等学校等で意欲的に取り組んだ活動実績、資格取得等により、さらに入学後の学修に必要な思考力・判断力・表現力を面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (4)社会人選抜では、入学後の学修に必要な理解力・論理的思考力・判断力・表現力を小論文により、また、高等学校等卒業後の社会人経験とそこから得た知見、及び生涯にわたり学び続ける意欲や態度を出願書類及び面接により総合的に評価し、入学者を選抜する。
- (5)私費外国人留学生選抜では、入学後の学修に必要な理解力・論理的思考力・判断力・表現力に加え、諸外国での学びを通して得た基礎的な知識と日本に留学するにあたっての学ぶ意欲や態度、日本語運用能力を日本留学試験、出願書類、面接により総合的に評価し、入学者を選抜する。

## 入学定員及び募集人員

学部	学科・課程	入学定員	募 集 人 員								
			一般選抜		特 別 選 抜						
			前期日程	後期日程	学 校 推 薦 型 選 抜	学 校 推 薦 型 選 抜 (地域【紀南】 推薦枠)	学 校 推 薦 型 選 抜 (スポーツ)	帰国子女選抜	社会人選抜	総合型選抜	私 費 外 国 留 学 生 選 抜
教育学部	学校教育教員養成課程	165	95 <small>(備考1参照)</small>	30 <small>(備考1参照)</small>	30 <small>(備考2参照)</small>	10 <small>(備考2参照)</small>	—	—	—	—	—
	小 計	165	95	30	30	10	—	—	—	—	—
経済学部	経済学科	300	180	80	30	—	4	3	3	—	若干名
	小 計	300	180	80	30	—	4	3	3	—	—
システム工学部	システム工学科	305	170	100	35	—	—	—	—	—	若干名
	小 計	305	170	100	35	—	—	—	—	—	—
観光学部	観光学科	120	63	—	35	—	—	—	2	20	若干名
	小 計	120	63	—	35	—	—	—	2	20	—
合 計		890	508	210	130	10	4	3	5	20	—

注1 特別選抜の学校推薦型選抜、学校推薦型選抜(スポーツ)、帰国子女選抜、社会人選抜、総合型選抜の合格者が、募集人員に満たない場合には、その差を前期日程の募集人員に加えます。

注2 経済学部、システム工学部、観光学部の一般選抜前期日程の募集人員には、私費外国人留学生選抜の募集人員若干名を含みます。

〔備考〕

- 1 教育学部の学校教育教員養成課程の一般選抜は、次のとおり募集します。

課 程	系	専 攻	募 集 人 員	
			前期日程	後期日程
学校教育教員養成課程	文科系	/	43	20
	理科系	/	32	10
	実技系	音楽又は美術	10	/
		保健体育	10	
計			95	30

(注)①文科系又は理科系を受験し、合格した人は、入学後に各コース(初等教育コース、中等教育コース、特別支援教育コース)への所属を決定します。

②実技系を受験し、合格した人は、入学後に各コース(初等教育コース、中等教育コース)への所属を決定します。

2 教育学部の学校教育教員養成課程の学校推薦型選抜は、次のとおり募集します。

選抜名称	募集区分		募集人員
学校推薦型選抜	学校教育教員養成課程	初等教育コース	18
		中等教育コース	7
		特別支援教育コース	5
学校推薦型選抜（地域【紀南】推薦枠）			10
計			40

(注)学校推薦型選抜を受験し、合格した人は、入学後、コースの変更を認めません。

3 教育学部の募集区分と入学後のコース等の対応は下表のとおりです。

〈一般選抜〉

募集区分		入学後のコース等		
学校教育教員養成課程	文科系	初等教育コース	教育学、心理学、国語科教育、英語教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育、幼児教育	
		中等教育コース	教育学、心理学、国語科教育、英語科教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育	
		特別支援教育コース	特別支援教育学	
	理科系	初等教育コース	教育学、心理学、算数科教育、理科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育、幼児教育	
		中等教育コース	教育学、心理学、数学科教育、科学教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育	
		特別支援教育コース	特別支援教育学	
	実技系	音楽又は美術	初等教育コース	音楽科教育 図画工作科教育
			中等教育コース	音楽科教育 美術科教育
		保健体育	初等教育コース	体育科教育
中等教育コース			保健体育科教育	

(注)上記の欄は変更されることがあります。

〈学校推薦型選抜〉

選抜名称	募集区分	入学後の専攻等	
学校推薦型選抜	初等教育コース	文科系	教育学、心理学、国語科教育、英語教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育、幼児教育
		理科系	教育学、心理学、算数科教育、理科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育、幼児教育
	中等教育コース	文科系	教育学、心理学、国語科教育、英語科教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育
		理科系	教育学、心理学、数学科教育、科学教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育
	特別支援教育コース	特別支援教育学	
学校推薦型選抜（地域【紀南】推薦枠）	文科系	初等教育コース	教育学、心理学、国語科教育、英語教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育、幼児教育
		中等教育コース	教育学、心理学、国語科教育、英語科教育、社会科教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育
		特別支援教育コース	特別支援教育学
	理科系	初等教育コース	教育学、心理学、算数科教育、理科教育、家庭科教育、音楽科教育、図画工作科教育、体育科教育、幼児教育
		中等教育コース	教育学、心理学、数学科教育、科学教育、家庭科教育、音楽科教育、美術科教育、保健体育科教育
	特別支援教育コース	特別支援教育学	

(注)上記の欄は変更されることがあります。

## 一般選抜

### 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ各学部・学科等が指定する令和3年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（11～16ページ参照）を受験した者

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれらに該当する見込みの者

これらの者は以下のとおり。

- ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者
  - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者
  - ④文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
  - ⑤高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和3年3月31日までに合格見込みの者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの
4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者及び令和3年3月31日までに18歳に達するもの

### 出願上の注意事項

（注1）令和3年度大学入学共通テストで各学部・学科等が指定する教科・科目を受験していなければ、出願資格を満たしていないことになり出願できません。本学は、過年度の大学入試センター試験の成績は利用しません。

（注2）個別の入学資格審査の申請方法等

上記出願資格の4により一般選抜に出願しようとする者は、個別の入学資格審査を行いますので下記を参照の上申請してください。

（申請方法・受付期間）

※事前に提出書類等の指示を行いますので、必ず「申請書類等受付期間」開始前に下記照会先に問い合わせてください。

申請書類等の提出方法は、持参・郵送により受付します。

窓口受付時間は、9時から17時（12時から13時を除く）までとします。

郵送の場合は、封筒表に「一般選抜 入学資格審査提出書類在中」と朱書きし、書留

速達郵便にて受付期間内までに和歌山大学入試課に必着するよう郵送してください。

なお、各回受付期間最終日17時を超えて到着のものは受理しません。

※申請書類に不備がある場合は、申請を受付しないことがありますので十分注意してください。

※申請書類等受理後、別途必要書類を求める場合があります。

(申請書類等受付期間)

第1回 令和2年8月18日(火)～8月21日(金)【17時までに入試課必着】

第2回 令和3年1月18日(月)～1月20日(水)【17時までに入試課必着】

(照会先・申請書類等提出先)

〒640-8510 和歌山市栄谷930

和歌山大学入試課 TEL 073-457-7117 (直通)

(審査結果)

審査の結果、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者に対し、「和歌山大学入学資格認定書」を申請者宛に書留速達郵便にて郵送します。

## 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障がいのある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、**事前に電話連絡した上で事前相談の申請をしてください。「点字解答」又は「代筆解答」を希望する場合は、準備に相当な期間を要しますので、なるべく早く相談してください。**

日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、受験上の配慮として申請してください。

また、出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者についても、受験上及び修学上の配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出て下さい。

なお、申請期限等詳細については学生募集要項に記載します。

### 1. 申請方法

事前に下記の連絡・申請先まで電話連絡の上、申請書及び必要書類(診断書(写)、大学入学共通テスト受験上の配慮申請時の診断書(写)、大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書(写)等)を提出してください。詳細については学生募集要項に記載します。

なお、場合により、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校等関係者と面談を行います。

### 2. 連絡・申請先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学入試課

TEL 073-457-7117

## 実施方式及び併願について

本学の一般選抜は、分離分割方式による「前期日程」と「後期日程」で実施します。

本学の前期日程に出願する場合は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）の前期日程との併願はできません。

本学の後期日程に出願する場合は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）の後期日程との併願はできません。

本学内の学部間又は同一学部内における前期日程と後期日程への出願は可能です。その場合は、前期日程と後期日程のそれぞれに出願書類を提出し、入学検定料を納めてください。

※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部は、  
公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org>）を参照してください。

## 入学者選抜方法等

入学者選抜方法は、令和3年度大学入学共通テストの成績と本学が実施する個別学力検査等の結果及び調査書を総合して行います。

大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等並びにこれらの配点については、各学部の【入学者選抜実施教科・科目等】を参照してください。

## 入学者選抜実施教科・科目等

### 教科・科目名の表記

本学における大学入学共通テストの利用教科・科目名は次のように一部略記しています。

( ) 内は正式名称です。

教科名	グループ	科 目 名
国 (国語)		国 (国語)
地歴 (地理歴史)		世A (世界史A)、世B (世界史B)、日A (日本史A)、 日B (日本史B)、地理A、地理B
公民		現社 (現代社会)、倫 (倫理)、政経 (政治・経済)、 倫・政経 (倫理、政治・経済)
数 (数学)	①	数I (数学I)、数I・数A (数学I・数学A)
	②	数II (数学II)、数II・数B (数学II・数学B)、簿 (簿記・会計)、 情報 (情報関係基礎)
理 (理科)	①	物基 (物理基礎)、化基 (化学基礎)、生基 (生物基礎)、 地基 (地学基礎)
	②	物 (物理)、化 (化学)、生 (生物)、地 (地学)
外 (外国語)		英 (英語)、独 (ドイツ語)、仏 (フランス語)、中 (中国語)、 韓 (韓国語)

本学における個別学力検査の教科・科目名は次のように一部略記しています。

( ) 内は正式名称です。

教科名	科 目 名
国 (国語)	国語総合
数 (数学)	数I (数学I)、数II (数学II)、数III (数学III)、数A (数学A)、 数B (数学B)
外 (外国語)	コミュ英I (コミュニケーション英語I)、 コミュ英II (コミュニケーション英語II)、 コミュ英III (コミュニケーション英語III)、英表I (英語表現I)

教育学部

入学者選抜実施教科・科目等

No.1

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別の入試方法等			
			教科グループ	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	面接	実技		配点合計		
教育学部 165人 前期 95 後期 30 その他 40	文科系 63人 前期 43 後期 20	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 ① ② 理 ①	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2 又は 物、化、生、地 から1	国 その他	国語総合 面接		大学入学共通テスト	200	*200 *200	*200 *200	200	100	300				1200	学校推薦型 選抜 追加合格		
								個別学力検査等	200											300	500
								計	400	*200 *200	*200 *200	200	100	300				300		1700	
		後期 3月12日	理 ② 外	物、化、生、地 から1 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目】	その他	面接		大学入学共通テスト	200	*100 *100	*100 *100	200	100	200							900
								個別学力検査等										200		200	
								計	200	*100 *100	*100 *100	200	100	200				200		1100	
	理科系 42人 前期 32 後期 10	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 ① ② 理 ②	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【5教科7科目】	数 その他	数I・数II・数A・数B 面接		大学入学共通テスト	200	*100 *100	*100 *100	200	400	300						1200	
								個別学力検査等										300		500	
								計	200	*100 *100	*100 *100	400	400	300				300		1700	
		後期 3月12日	理 ② 外	物、化、生、地から2 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【5教科7科目】	その他	面接		大学入学共通テスト	200	*100 *100	*100 *100	200	200	200							900
								個別学力検査等										200		200	
								計	200	*100 *100	*100 *100	200	200	200				200		1100	
実技系 「音楽又は美術」 前期 10人	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 ① ② 理 ②	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2又は1 ※ 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2 ※ 又は 物、化、生、地 から1 ※ 又は 物、化、生、地 から2 ※ 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【「地歴」、「公民」から2科目と「理①」から2科目の組合せ 6教科8科目又は5教科8科目】 【「地歴」、「公民」から2科目と「理②」から1科目の組合せ 6教科7科目又は5教科7科目】 【「地歴」、「公民」から1科目と「理②」から2科目の組合せ 5教科7科目】	その他 その他	実技検査 面接		大学入学共通テスト	200	*100 *100	*100 *100	200	100 *100	300					1000			
							個別学力検査等										300	400	700		
							計	200	*100 *100	*100 *100	200	100 *100	300				300	400	1700		
	後期 3月12日	理 ② 外	物、化、生、地から2 ※ 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【「地歴」、「公民」から2科目と「理①」から2科目の組合せ 6教科8科目又は5教科8科目】 【「地歴」、「公民」から2科目と「理②」から1科目の組合せ 6教科7科目又は5教科7科目】 【「地歴」、「公民」から1科目と「理②」から2科目の組合せ 5教科7科目】	その他 その他	実技検査 面接		大学入学共通テスト	200	*100 *100	*100 *100	200	100 *100	300						1000		
							個別学力検査等										300	400	700		
							計	200	*100 *100	*100 *100	200	100 *100	300				300	400	1700		
実技系 「保健体育」 前期 10人	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 ① ② 理 ①	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2又は1 ※ 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2 ※ 又は 物、化、生、地 から1 ※ 又は 物、化、生、地 から2 ※ 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【「地歴」、「公民」から2科目と「理①」から2科目の組合せ 6教科8科目又は5教科8科目】 【「地歴」、「公民」から2科目と「理②」から1科目の組合せ 6教科7科目又は5教科7科目】 【「地歴」、「公民」から1科目と「理②」から2科目の組合せ 5教科7科目】	その他 その他	実技検査 面接		大学入学共通テスト	200	*100 *100	*100 *100	200	100 *100	300					1000			
							個別学力検査等										300	400	700		
							計	200	*100 *100	*100 *100	200	100 *100	300				300	400	1700		



#### 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

以下の説明において、「理科」で基礎を付した科目を「理①」、基礎を付していない科目を「理②」とします。

[前期日程・後期日程共通]

1. 外国語の「英語」において、リーディングとリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。特例追試験は、筆記とリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。

[学校教育教員養成課程（文科系）（前期日程・後期日程）]

1. 「理科」において、「理②」2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
2. 「理科」において、「理①」と「理②」の両方を受験した場合は、「理①」の2科目合計得点又は「理②」の得点のいずれか高い方の得点を採用します。

[学校教育教員養成課程（理科系）（前期日程・後期日程）]

1. 「地歴」、「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

[学校教育教員養成課程（実技系）（前期日程）] ※

1. 「地歴」、「公民」及び「理科」において、以下のa、b、cのうち、いずれかの組合せとします。
  - a. 「地歴」、「公民」から2科目と「理①」から2科目の組合せ
  - b. 「地歴」、「公民」から2科目と「理②」から1科目の組合せ
  - c. 「地歴」、「公民」から1科目と「理②」から2科目の組合せ
2. 「地歴」、「公民」から2科目受験した場合で、「理科」において、「理①」と「理②」の両方を受験した場合は、「理①」の2科目合計得点又は「理②」の得点のいずれか高い方の得点を採用します。
3. 「地歴」、「公民」から2科目かつ「理②」から2科目受験した場合は、以下のa、bのうち、いずれか高得点の組合せを採用します。
  - a. 「地歴」、「公民」の2科目と「理②」の第1解答科目の組合せ
  - b. 「地歴」、「公民」の第1解答科目と「理②」の2科目の組合せ

#### 【個別学力検査等】欄

1. 国語総合は、近代以降の文章、古典（古文、漢文）を出題範囲とします。
2. 数学I、数学II、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。数学Bは、数列、ベクトルを出題範囲とします。

#### 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

1. 配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
2. 大学入学共通テスト 外国語の「英語」において、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点（200点満点）を英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング（100点満点）の得点を2倍（200点満点）にしたものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。
3. 大学入学共通テスト特例追試験 外国語の「英語」において、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点（250点満点）を0.8倍（200点満点）に圧縮したものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記（200点満点）の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別の入試方法等
			教科 グループ	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題A	総合問題B(後期)	配点合計	
経済学部 300人 前期 180 後期 80 その他 40	経済学科	前期 2月25日	国	国	その他 総合問題A 総合問題B I } から1 その他 総合問題B II }	2段階 選抜	大学入学共通テスト	200	100 *100	*100	200	100	200			900	学校推薦型 選抜 学校推薦型 選抜 (スポーツ) 帰国子女選抜 社会人選抜 私費外国人 留学生選抜 追加合格
			公民	現社、倫、政経、倫・政経から0又は1 } から2 数① 数I、数I・数Aから1 ② 数II、数II・数B、簿、情報から1 理① 物基、化基、生基、地基から2 又は ② 物、化、生、地 から1 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目】			その他	総合問題(後期) (与えられた文章を理解し、関連する資料(図・数表・英文資料等を含む)に基づいて、論理的に考え、判断し、論述する力を問う問題により、社会科学を学ぶ上で必要な知識、並びにそれを活用する能力を備えているかどうかを問う。)	個別学力検査等								
		後期 3月12日	国	国	その他		大学入学共通テスト	*100	*100 *100	*100	*100 *100	*100	400			600	
			公民	現社、倫、政経、倫・政経から1 数① 数I、数I・数Aから1 ② 数II、数II・数B、簿、情報から1 理① 物基、化基、生基、地基から2 又は ② 物、化、生、地 から1 英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【3教科4(3)科目又は2教科3科目】			個別学力検査等									1200	1200
			外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【3教科4(3)科目又は2教科3科目】			計	200	100 *100	*100	200	100	200	500	400	1800	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

以下の説明において、「数学」で【数I、数I・数A】を「数①」とし、【数II、数II・数B、簿、情報】を「数②」とします。「理科」で基礎を付した科目を「理①」、基礎を付していない科目を「理②」とします。

[前期日程・後期日程共通]

1. 外国語の「英語」において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。特例追試験は、筆記とリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。

[前期日程]

1. 「地歴」【世B、日B、地理B】から必ず1科目以上を受験してください。
2. 「理科」において、「理②」2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
3. 「理科」において、「理①」と「理②」の両方を受験した場合は、「理①」の2科目合計得点又は「理②」の得点のいずれか高い方の得点を採用します。

[後期日程]

指定教科数・科目数を超過して受験している場合には、次のa、b、cの中から最も高得点となる組合せを採用します。

- a. 「地歴」2科目の組合せ
- b. 「地歴」1科目と「公民」1科目の組合せ
- c. 以下から2つの組合せ
  - ・「国」
  - ・「地歴」、「公民」の第1解答科目
  - ・「数①」
  - ・「数②」
  - ・「理①」2科目の合計得点又は「理②」第1解答科目の得点のいずれか高い方

【個別学力検査等】欄

[前期日程]

社会科学を学ぶ上で必要な知識、並びにそれを活用する能力を備えているかどうかを問います。

1. 総合問題Aは、与えられた文章(英文を含む)を理解し、関連する資料(図・数表・英文資料等を含む)に基づいて、論理的に考え、判断し、論述する力を問います。
2. 総合問題B Iは、数学的思考力を問います。数学I、数学II、数学A、数学B(数列・ベクトル)で学ぶ内容の理解を前提として出題します。
3. 総合問題B IIは、簿記の知識・技能・思考を問います。大学入学共通テスト「簿記・会計」の出題範囲に相当する内容の理解を前提として出題します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

1. 配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
2. 大学入学共通テスト 外国語の「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。
3. 大学入学共通テスト特例追試験 外国語の「英語」において、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点(250点満点)を0.8倍(200点満点)に圧縮したものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記(200点満点)の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別の入試方法等		
		教科グループ	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技		配点合計	
システム工学部 305人 前期 170 後期 100 その他 35	システム工学科	前期 2月25日	国	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英 (リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【5教科7科目】	数外	数I・数II・数III・数A・数B コミュ英I・コミュ英II・コミュ英III・英表I		大学入学共通テスト	200	*100	*100	200	400	200				1100	学校推薦型 選抜 私費外国人 留学生選抜 追加合格
			個別学力検査等								200		200					400	
		計	200	*100	*100	400	400	400						1500					
		後期 3月12日	国	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数I、数I・数Aから1 数II、数II・数B、簿、情報から1 物、化、生、地から2 英 (リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1 【5教科7科目】	その他	総合問題 (システム工学を学ぶにふさわしい能力・適性等を問う。)		大学入学共通テスト	200	*100	*100	300	300	200				1100	
個別学力検査等										400				400					
計	200	*100	*100	300	300	200	400						1500						

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1. 外国語の「英語」において、リーディングとリスニングを課します (リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。特別追試験は、筆記とリスニングを課します (リスニングが免除となった場合を除き、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。
2. 「地歴」、「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

【個別学力検査等】欄

1. 数学I、数学II、数学III、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。数学Bは、数列、ベクトルを出題範囲とします。
2. 英語表現Iは、リスニングを出題範囲から除きます。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

1. 配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
2. 大学入学共通テスト 外国語の「英語」において、リーディング (100点満点) とリスニング (100点満点) の合計点 (200点満点) を英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング (100点満点) の得点を2倍 (200点満点) にしたものを英語の得点とします。
3. 大学入学共通テスト 特別追試験 外国語の「英語」において、筆記 (200点満点) とリスニング (50点満点) の合計点 (250点満点) を0.8倍 (200点満点) に圧縮したものを英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記 (200点満点) の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とします。

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										特別の入試方法等		
			教科グループ	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文		実技	配点合計
観光学部 120人 前期 63 後期 0 その他 57	観光学科	前期 2月25日	国	国 世B、日B、地理Bから1又は2 現社、倫、政経、倫・政経から0又は1 } から2 数 ① 数I、数I・数Aから1 ② 数II、数II・数B、簿、情報から1 理 ① 物基、化基、生基、地基から2 ② 又は 物、化、生、地 から1 英 (リスニングを含む) 【6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目】	その他	総合問題 (与えられた文章を理解し、関連する資料(図、数表、グラフ、地図、英文などを含む)に基づいて、論理的に考え、判断し、論述する力を問う。観光を学術的にとらえていく上で必要な知識、思考力、表現力を備えているかを問う。)		大学入学共通テスト	200	100 *100	*100	200	100	200				900	学校推薦型 選抜 社会人選抜 総合型選抜 私費外国人 留学生選抜
			個別学力検査等														400		
							計	200	100 *100	*100	200	100	200	400				1300	追加合格
		後期 3月12日					大学入学共通テスト												
							個別学力検査等												
							計												

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

以下の説明において、「数学」で【数I、数I・数A】を「数①」とし、【数II、数II・数B、簿、情報】を「数②」とします。「理科」で基礎を付した科目を「理①」、基礎を付していない科目を「理②」とします。

[前期日程]

1. 外国語の「英語」において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。特例追試験は、筆記とリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。
2. 「地歴」【世B、日B、地理B】から必ず1科目以上を受験してください。
3. 「理科」において、「理②」2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
4. 「理科」において、「理①」と「理②」の両方を受験した場合は、「理①」の2科目合計得点又は「理②」の得点のいずれか高い方の得点を採用します。

【個別学力検査等】欄

特記なし。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

1. 配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
2. 大学入学共通テスト 外国語の「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とします。
3. 大学入学共通テスト特例追試験 外国語の「英語」において、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点(250点満点)を0.8倍(200点満点)に圧縮したものを英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記(200点満点)の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とします。



美術	<p style="text-align: center;">共 通</p> <p style="text-align: center;">〔全員が受験してください。〕</p>	<p>造形表現</p> <p>与えられた主題を配付された素材で立体的に表現し、鉛筆を用いて素描してください。</p> <p style="text-align: right;">(試験時間：180分)</p>	<p>持参物</p> <p>素描用黒鉛筆、練り消しゴム、プラスチック消しゴム、カッターナイフ、30cm程度の直定規、三角定規(一組)、コンパス</p> <p>※その他の道具等はすべて大学で用意します。</p>
保健	<p style="text-align: center;">共 通</p> <p style="text-align: center;">〔全員が受験してください。〕</p>	<p>〔基礎運動能力テスト〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 20mシャトルラン</li> <li>2. 立ち幅跳び</li> <li>3. 反復横とび</li> <li>4. マット運動</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育館シューズを用意してください。</li> <li>○各種目に応じたシューズの使用を認めます。</li> </ul>
体育	<p style="text-align: center;">選 択</p> <p style="text-align: center;">〔右の10種目の中から1種目を選択し、受験してください。陸上競技選択者は、内訳からも1種目選択してください。〕</p>	<p>〔選択種目別 実技テスト〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 陸上競技 (100m走、800m走、走幅跳、走高跳、砲丸投、槍投、ハンマー投、円盤投から1種目)</li> <li>2. バスケットボール</li> <li>3. バレーボール</li> <li>4. サッカー</li> <li>5. 柔道</li> <li>6. バドミントン</li> <li>7. 創作ダンス</li> <li>8. 野球(硬式)</li> <li>9. ハンドボール</li> <li>10. テニス(硬式)</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バドミントン・テニス受験者はラケットの持参を認めます。</li> <li>○柔道受験者は柔道衣を持参してください。</li> <li>○野球受験者はグローブ、バット、ヘルメットを持参してください。</li> </ul>

## 個別学力検査等実施教科・科目の試験時間

### ●前期日程

学 部	国語	数学	外国語	総合 問題A	総合問題B I 総合問題B II	総合 問題	面接	実 技 検 査
教 育 学 部	90分	90分					適 宜	およそ学力検査 2教科分の所要 時間に準ずる。
経 済 学 部				90分	60分			
システム工学部		90分	90分					
観 光 学 部						90分		

### ●後期日程

教 育 学 部	面 接
	適 宜
経 済 学 部	総合問題(後期)
	90分
システム工学部	総 合 問 題
	120分
観 光 学 部	

# 特別選抜

## 学校推薦型選抜

No. 1

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース																																														
募集人員	18名																																														
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者 (1)本学部が指定する令和3年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験した者 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり2名までとする） (3)「初等教育」に関心を持ち、小学校教員を志望する者 (4)受験及び合格した場合の入学を確約する者</p>																																														
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類（推薦書、志望理由書、調査書）により総合して行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th> <th colspan="3">個別学力検査等</th> <th rowspan="2">配点合計</th> </tr> <tr> <th>教科グループ</th> <th>科目名等</th> <th>配点</th> <th>教科等</th> <th>科目名等</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>200</td> <td rowspan="6">その他</td> <td rowspan="6">面接</td> <td rowspan="6">800</td> <td rowspan="6">1600</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>① 数I・数A</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>② 数II・数B、簿、情報から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理</td> <td>① 物基、化基、生基、地基から2 又は</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>② 物、化、生、地 から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外</td> <td>英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td><b>【5教科7（6）科目】</b></td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄</b> 以下の説明において、「理科」で基礎を付した科目を「理①」、基礎を付していない科目を「理②」とします。 (注1)外国語の「英語」において、リーディングとリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。特例追試験は、筆記とリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。 (注2)「地歴」、「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。 (注3)「理科」において、「理②」2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。 (注4)「理科」において、「理①」と「理②」の両方を受験した場合は、「理①」の2科目合計得点又は「理②」の得点のいずれか高い方の得点を採用します。 (注5)大学入学共通テスト 外国語の「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とします。 (注6)大学入学共通テスト特例追試験 外国語の「英語」において、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点(250点満点)を0.8倍(200点満点)に圧縮したものを英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記(200点満点)の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とします。</p>						大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			配点合計	教科グループ	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	国	国	200	その他	面接	800	1600	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	100	公民	現社、倫、政経、倫・政経	100	数	① 数I・数A	200	② 数II・数B、簿、情報から1	100	理	① 物基、化基、生基、地基から2 又は	100	② 物、化、生、地 から1	100	外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	200	<b>【5教科7（6）科目】</b>	800
大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			配点合計																																									
教科グループ	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点																																										
国	国	200	その他	面接	800	1600																																									
地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	100																																													
公民	現社、倫、政経、倫・政経	100																																													
数	① 数I・数A	200																																													
	② 数II・数B、簿、情報から1	100																																													
理	① 物基、化基、生基、地基から2 又は	100																																													
	② 物、化、生、地 から1	100																																													
外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	200																																													
	<b>【5教科7（6）科目】</b>	800																																													
出願期間	令和3年1月5日(火)～1月7日(木)																																														
選抜期日	令和3年1月30日(土)																																														
合格者発表日	令和3年2月7日(日)																																														
その他																																															



# 学校推薦型選抜

No. 2

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース																																												
募集人員	7名																																												
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者</p> <p>(1)本学部が指定する令和3年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験した者 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり1名とする） (3)「中等教育」に関心を持ち、中学校教員を志望する者 (4)受験及び合格した場合の入学を確約する者</p>																																												
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類（推薦書、志望理由書、調査書）により総合して行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th> <th colspan="2">個別学力検査等</th> <th rowspan="2">配点合計</th> </tr> <tr> <th>教科グループ</th> <th>科目名等</th> <th>配点</th> <th>教科等</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>200</td> <td rowspan="10">その他</td> <td rowspan="10">面接</td> <td rowspan="10">800</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>① 数I・数A</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>② 数II・数B、簿、情報から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>① 物基、化基、生基、地基から2</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>又は</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>② 物、化、生、地 から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td><b>【5教科7(6)科目】</b></td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄</b> 以下の説明において、「理科」で基礎を付した科目を「理①」、基礎を付していない科目を「理②」とします。 (注1)外国語の「英語」において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。特例追試験は、筆記とリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。 (注2)「地歴」、「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。 (注3)「理科」において、「理②」2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。 (注4)「理科」において、「理①」と「理②」の両方を受験した場合は、「理①」の2科目合計得点又は「理②」の得点のいずれか高い方の得点を採用します。 (注5)大学入学共通テスト 外国語の「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とします。 (注6)大学入学共通テスト特例追試験 外国語の「英語」において、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点(250点満点)を0.8倍(200点満点)に圧縮したものを英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記(200点満点)の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とします。</p>	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		配点合計	教科グループ	科目名等	配点	教科等	科目名等	国	国	200	その他	面接	800	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	100	公民	現社、倫、政経、倫・政経	200	数	① 数I・数A	100		② 数II・数B、簿、情報から1	200	理	① 物基、化基、生基、地基から2	100		又は	200		② 物、化、生、地 から1	200	外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	200		<b>【5教科7(6)科目】</b>	800
大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		配点合計																																								
教科グループ	科目名等	配点	教科等	科目名等																																									
国	国	200	その他	面接	800																																								
地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	100																																											
公民	現社、倫、政経、倫・政経	200																																											
数	① 数I・数A	100																																											
	② 数II・数B、簿、情報から1	200																																											
理	① 物基、化基、生基、地基から2	100																																											
	又は	200																																											
	② 物、化、生、地 から1	200																																											
外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	200																																											
	<b>【5教科7(6)科目】</b>	800																																											
出願期間	令和3年1月5日(火)～1月7日(木)																																												
選抜期日	令和3年1月30日(土)																																												
合格者発表日	令和3年2月7日(日)																																												
その他																																													

# 学校推薦型選抜

No. 3

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース																																										
募集人員	5名																																										
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者</p> <p>(1)本学部が指定する令和3年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験した者 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり1名とする） (3)「特別支援教育」に関心を持ち、特別支援学校教員を志望する者 (4)受験及び合格した場合の入学を確約する者</p>																																										
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類（推薦書、志望理由書、調査書）により総合して行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th> <th colspan="2">個別学力検査等</th> <th rowspan="2">配点合計</th> </tr> <tr> <th>教科グループ</th> <th>科目名等</th> <th>配点</th> <th>教科等</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>200</td> <td rowspan="6">その他</td> <td rowspan="6">面接</td> <td rowspan="6">800</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>① 数I・数A</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>② 数II・数B、簿、情報から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理</td> <td>① 物基、化基、生基、地基から2 又は</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>② 物、化、生、地 から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"><b>【5教科7（6）科目】</b></td> <td></td> <td></td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄</b> 以下の説明において、「理科」で基礎を付した科目を「理①」、基礎を付していない科目を「理②」とします。 (注1)外国語の「英語」において、リーディングとリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。特例追試験は、筆記とリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。 (注2)「地歴」、「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。 (注3)「理科」において、「理②」2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。 (注4)「理科」において、「理①」と「理②」の両方を受験した場合は、「理①」の2科目合計得点又は「理②」の得点のいずれか高い方の得点を採用します。 (注5)大学入学共通テスト 外国語の「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とします。 (注6)大学入学共通テスト特例追試験 外国語の「英語」において、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点(250点満点)を0.8倍(200点満点)に圧縮したものを英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記(200点満点)の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とします。</p>	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		配点合計	教科グループ	科目名等	配点	教科等	科目名等	国	国	200	その他	面接	800	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	100	公民	現社、倫、政経、倫・政経	100	数	① 数I・数A	200	② 数II・数B、簿、情報から1	100	理	① 物基、化基、生基、地基から2 又は	100	② 物、化、生、地 から1	200	外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	200	<b>【5教科7（6）科目】</b>					800
大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		配点合計																																						
教科グループ	科目名等	配点	教科等	科目名等																																							
国	国	200	その他	面接	800																																						
地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	100																																									
公民	現社、倫、政経、倫・政経	100																																									
数	① 数I・数A	200																																									
	② 数II・数B、簿、情報から1	100																																									
理	① 物基、化基、生基、地基から2 又は	100																																									
	② 物、化、生、地 から1	200																																									
外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1	200																																									
<b>【5教科7（6）科目】</b>					800																																						
出願期間	令和3年1月5日(火)～1月7日(木)																																										
選抜期日	令和3年1月30日(土)																																										
合格者発表日	令和3年2月7日(日)																																										
その他																																											

## 学校推薦型選抜(地域【紀南】推薦枠)

No. 4

実施学部・学科等名	教育学部 学校教育教員養成課程						
募集人員	10名						
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者</p> <p>(1)和歌山県紀南（御坊市、田辺市、新宮市、日高郡、西牟婁郡、東牟婁郡）に所在する出身学校長が責任をもって推薦できる者 (2)調査書全体の評定平均値が4.0以上の者（出願前の学期までの成績による） (3)和歌山県紀南地域（御坊市、田辺市、新宮市、日高郡、西牟婁郡、東牟婁郡）での小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教員のいずれかを志望する者 (4)受験及び合格した場合の入学を確約する者</p>						
選抜方法等	<p>大学入学共通テストを免除し、小論文、面接の結果及び出願書類（推薦書、志望理由書及び調査書）により総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>小論文</th> <th>面接・推薦書・志望理由書・調査書</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計	100	100	200
小論文	面接・推薦書・志望理由書・調査書	合計					
100	100	200					
出願期間	令和2年11月2日(月)～11月4日(水)						
選抜期日	令和2年11月14日(土)						
合格者発表日	令和2年12月1日(火)						
その他	(注)学校推薦型選抜(地域【紀南】推薦枠)については、各校3名を上限とします。						

## 学校推薦型選抜

No. 5

実施学部・学科等名	経済学部 経済学科						
募集人員	30名						
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者</p> <p>(1)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり3名までとする） (2)調査書全体の評定平均値が4.0以上の者（出願時直前の学期までの成績による） (3)合格した場合は入学を確約する者</p>						
選抜方法等	<p>大学入学共通テストを免除します。</p> <p>小論文、面接（与えられたテーマに関する集団討論）の成績、及び出願書類を総合して評価します。</p> <p>・配点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小論文</th> <th>面接・出願書類</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	小論文	面接・出願書類	合計	100	100	200
小論文	面接・出願書類	合計					
100	100	200					
出願期間	令和2年11月2日(月)～11月6日(金)						
選抜期日	令和2年11月28日(土)、予備日：12月6日(日)						
合格者発表日	令和2年12月11日(金)						
その他							

## 学校推薦型選抜(スポーツ)

No. 6

実施学部・学科等名	経済学部 経済学科						
募集人員	4名						
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者</p> <p>(1)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり1名とする） (2)学業とスポーツを3年間両立させてきたことによる出身学校長からの推薦であること (3)調査書全体の評定平均値が3.5以上の者（出願時直前の学期までの成績による） (4)高等学校の運動部の顧問あるいは所属する団体の監督・責任者から推薦される者(優れた人間性と、全国大会水準のスポーツ技能を有することによる推薦であること) (5)合格した場合は入学を確約する者 (6)入学後は、本学体育会所属団体あるいはその他の団体でスポーツ活動を継続する意志を有する者</p>						
選抜方法等	<p>大学入学共通テストを免除します。 小論文、面接の成績、及び出願書類を総合して評価します。</p> <p>・配点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小論文</th> <th>面接・出願書類</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>200</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>	小論文	面接・出願書類	合計	100	200	300
小論文	面接・出願書類	合計					
100	200	300					
出願期間	令和2年11月2日(月)～11月6日(金)						
選抜期日	令和2年11月28日(土)、予備日：12月6日(日)						
合格者発表日	令和2年12月11日(金)						
その他							

# 学校推薦型選抜

No. 7

実施学部・学科等名	システム工学部 システム工学科																																																					
募集人員	35名																																																					
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2)特別支援学校高等部を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3)高等専門学校3年次を令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者</p> <p>(1)本学部が指定する令和3年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験した者</p> <p>(2)出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3)学業成績が優秀で本学部での学習に強い意欲をもつ者</p> <p>(4)合格した場合は入学を確約する者</p>																																																					
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績、面接の結果及び出願書類により総合して行います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学科名</th> <th colspan="3">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th> <th colspan="3">個別学力検査等</th> <th rowspan="2">配点合計</th> </tr> <tr> <th>教科グループ</th> <th>科目名等</th> <th>配点</th> <th>教科等</th> <th>科目名等</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">システム工学科</td> <td>国</td> <td>国</td> <td>200</td> <td rowspan="5">その他</td> <td rowspan="5">面接</td> <td rowspan="5">600</td> <td rowspan="5">1800</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数 ①</td> <td>数I、数I・数Aから1</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>数II、数II・数B、簿、情報から1</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>理 ②</td> <td>物、化、生、地から2</td> <td>150×2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;"><b>【5教科7科目】</b></td> <td>1200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄</b></p> <p>(注1)外国語の「英語」において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。特例追試験は、筆記とリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。</p> <p>(注2)「地歴」、「公民」において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。</p> <p>(注3)大学入学共通テスト 外国語の「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点を英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。</p> <p>(注4)大学入学共通テスト特例追試験 外国語の「英語」において、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点(250点満点)を0.8倍(200点満点)に圧縮したものを英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記(200点満点)の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、本学部が定めている配点に換算します。</p>							学科名	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			配点合計	教科グループ	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	システム工学科	国	国	200	その他	面接	600	1800	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	100	公民	現社、倫、政経、倫・政経		数 ①	数I、数I・数Aから1	150	②	数II、数II・数B、簿、情報から1	150	理 ②	物、化、生、地から2	150×2	外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1	300			<b>【5教科7科目】</b>	1200			
学科名	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			配点合計																																															
	教科グループ	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点																																																
システム工学科	国	国	200	その他	面接	600	1800																																															
	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	100																																																			
	公民	現社、倫、政経、倫・政経																																																				
	数 ①	数I、数I・数Aから1	150																																																			
	②	数II、数II・数B、簿、情報から1	150																																																			
理 ②	物、化、生、地から2	150×2																																																				
外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1	300																																																				
		<b>【5教科7科目】</b>	1200																																																			
出願期間	令和3年1月5日(火)～1月7日(休)																																																					
選抜期日	令和3年1月29日(金)、予備日：1月30日(土)																																																					
合格者発表日	令和3年2月7日(日)																																																					
その他																																																						

# 学校推薦型選抜

No. 8

実施学部・学科等名	観光学部 観光学科																																															
募集人員	35名																																															
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者</p> <p><b>【基礎資格】</b> 次の各号のいずれかに該当する者 (1)高等学校若しくは中等教育学校を令和3年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p><b>【要件】</b> 次のすべてに該当する者 (1)本学部が指定する令和3年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者 (2)出身学校長が責任をもって推薦できる者（1校当たり3名までとする） (3)調査書における全体の評定平均値が3.0以上の者（出願時直前の学期までの成績による） (4)合格した場合は入学を確約する者</p>																																															
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績、面接（高等学校時代の優れた実績や体験などの自己アピールを含みます。）の結果及び出願書類（推薦書、自己推薦書、調査書）により総合して行います。出願時に英語による自己推薦書を作成した者は、英語による面接となります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th> <th colspan="2">個別学力検査等</th> <th rowspan="2">配点 合計</th> </tr> <tr> <th>教科 グループ</th> <th>科目名等</th> <th>配点</th> <th>教科等</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>*100</td> <td rowspan="7">その他</td> <td rowspan="7">面接</td> <td rowspan="7">600</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1</td> <td>*100 *100</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経 } 又は2</td> <td>*100 *100</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>① 数I、数I・数Aから1</td> <td>*100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>② 数II、数II・数B、簿、情報から1</td> <td>*100</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>① 物基、化基、生基、地基 から2 又は</td> <td>*100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>② 物、化、生、地 から1</td> <td>*100</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英(リスニングを含む)</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">【3教科4(3)科目又は2教科3科目】</td> <td></td> <td></td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄 以下の説明において、「数学」で【数I、数I・数A】を「数①」とし、【数II、数II・数B、簿、情報】を「数②」とします。「理科」で基礎を付した科目を「理①」、基礎を付していない科目を「理②」とします。 (注1)外国語の「英語」において、リーディングとリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、リーディング及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。特例追試験は、筆記とリスニングを課します(リスニングが免除となった場合を除き、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります)。 (注2)指定教科数・科目数を超えて受験している場合には、次のa、bの中から最も高得点となる組合せを採用します。 a. 「地歴」、「公民」から2科目の組合せ b. 以下から2つの組合せ ・「国」 ・「地歴」、「公民」の第1解答科目 ・「数①」 ・「数②」 ・「理①」2科目の合計得点又は「理②」第1解答科目の得点のいずれか高い方 (注3)配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。 (注4)大学入学共通テスト 外国語の「英語」において、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)を英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、リーディング(100点満点)の得点を2倍(200点満点)にしたものを英語の得点とします。 (注5)大学入学共通テスト特例追試験 外国語の「英語」において、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点(250点満点)を0.8倍(200点満点)に圧縮したものを英語の得点とします。ただし、重度難聴者等でリスニングが免除となった場合は、筆記(200点満点)の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とします。</p>	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		配点 合計	教科 グループ	科目名等	配点	教科等	科目名等	国	国	*100	その他	面接	600	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	*100 *100	公民	現社、倫、政経、倫・政経 } 又は2	*100 *100	数	① 数I、数I・数Aから1	*100		② 数II、数II・数B、簿、情報から1	*100	理	① 物基、化基、生基、地基 から2 又は	*100		② 物、化、生、地 から1	*100	外	英(リスニングを含む)	200				【3教科4(3)科目又は2教科3科目】					400
大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		配点 合計																																											
教科 グループ	科目名等	配点	教科等	科目名等																																												
国	国	*100	その他	面接	600																																											
地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1	*100 *100																																														
公民	現社、倫、政経、倫・政経 } 又は2	*100 *100																																														
数	① 数I、数I・数Aから1	*100																																														
	② 数II、数II・数B、簿、情報から1	*100																																														
理	① 物基、化基、生基、地基 から2 又は	*100																																														
	② 物、化、生、地 から1	*100																																														
外	英(リスニングを含む)	200																																														
【3教科4(3)科目又は2教科3科目】					400																																											
出願期間	令和2年11月9日(月)～11月12日(木)																																															
選抜期日	令和2年12月5日(土)又は12月6日(日) (面接は指定されたいずれか1日です。詳細は、受験票発送時に志願者本人に通知します。)																																															
合格者発表日	令和2年2月7日(日)																																															
その他																																																

# 帰国子女選抜

No. 9

実施学部・学科等名	経済学部 経済学科		
募 集 人 員	3名		
出 願 資 格	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けている者（保護者が先に日本に帰国した後、引き続き単身で在留している者を含む）のうち、次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を平成31（2019）年4月1日から令和3（2021）年3月31日までに修了した者又は修了見込みの者で外国において最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けた者</p> <p>ただし、外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とみなさない。</p> <p>(2)外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(3)外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を平成31（2019）年から令和元（2019）年又は令和2（2020）年に授与された者</p> <p>(4)外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成31（2019）年から令和元（2019）年又は令和2（2020）年に取得した者</p> <p>(5)外国において、フランス共和国のバカロレア資格証書を平成31（2019）年から令和元（2019）年又は令和2（2020）年に授与された者</p> <p>(6)外国において、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を取得した者</p> <p>(7)外国において、国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者</p>		
選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テストを免除します。</p> <p>面接（日本語）の成績及び出願書類を総合して評価します。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>面接・出願書類</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">300</td> </tr> </table>	面接・出願書類	300
面接・出願書類			
300			
出 願 期 間	令和2（2020）年11月2日(月)～11月6日(金)		
選 抜 期 日	令和2（2020）年11月26日(木)、予備日：12月6日(日)		
合 格 者 発 表 日	令和2（2020）年12月11日(金)		
そ の 他			



## 社会人選抜

No.10

実施学部・学科等名	経済学部 経済学科		
募集人員	3名		
出願資格	<p>出願時点で社会人の経験を3年以上(注)有し、令和3年3月31日までに年齢満21歳以上で、次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3)高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和3年3月31日までに合格見込みの者</p> <p>(4)旧制諸学校の卒業者又は中途退学者で、文部科学大臣の定めるところにより大学入学資格を有する者</p> <p>(注)「社会人の経験を3年以上」の対象となる期間と、高等学校の定時制課程及び通信制課程の在学期間は、重複しても構いません。</p>		
選抜方法等	<p>大学入学共通テストを免除します。</p> <p>面接の成績及び出願書類を総合して評価します。</p> <p>・配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>面接・出願書類</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">300</td> </tr> </table>	面接・出願書類	300
面接・出願書類			
300			
出願期間	令和2年11月2日(月)～11月6日(金)		
選抜期日	令和2年11月26日(休)、予備日：12月6日(日)		
合格者発表日	令和2年12月11日(金)		
その他			

## 社会人選抜

No.11

実施学部・学科等名	観光学部 観光学科						
募 集 人 員	2名						
出 願 資 格	<p>令和3年3月31日までに年齢満25歳に達し、<u>社会人の経験を3年以上</u>(注)有する者で、次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3)高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和3年3月31日までに合格見込みの者</p> <p>(4)旧制諸学校の卒業者又は中途退学者で、文部科学大臣の定めるところによって大学入学資格を有する者</p> <p>(注)<u>社会人の経験を3年以上</u>には、夜間又は通信制以外の学校在学期間は含めません。</p>						
選 抜 方 法 等	<p>大学入学共通テストを免除し、小論文、面接の結果により総合して行います。</p> <p>・配点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小論文</th> <th>面 接</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200</td> <td>100</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>	小論文	面 接	合 計	200	100	300
小論文	面 接	合 計					
200	100	300					
出 願 期 間	令和2年11月2日(月)～11月6日(金)						
選 抜 期 日	令和2年12月5日(土)						
合 格 者 発 表 日	令和2年12月18日(金)						
そ の 他							

# 総合型選抜

No.12

実施学部・学科等名	観光学部 観光学科																	
募集人員	20名																	
出願資格	<p>以下の(1)~(4)のすべての要件を満たす者                      (1)次の①から④のいずれかの要件を満たす者                      ①高等学校若しくは中等教育学校を令和元年度に卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者                      ②通常の課程による12年の学校教育を令和元年度に修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者                      ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後で令和元年度に修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者                      ④高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で令和3年3月31日までに19歳に達するもの及び令和3年3月31日までに合格見込みの者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの                      (2)上記(1)①で出願する場合には、調査書における全体の評定平均値が3.5以上の者（出願時直前の学期までの成績による）                      (3)次のいずれかの成績を修めた者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>各資格・検定試験の名称</th> <th>スコア・等級（適用区分：CEFR対照表 B1レベル以上）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケンブリッジ英語検定（注1）</td> <td>140以上</td> </tr> <tr> <td>実用英語技能検定（英検）（注2）</td> <td>2級以上</td> </tr> <tr> <td>「GTEC」検定版（4技能）（注3）</td> <td>960以上</td> </tr> <tr> <td>IELTS（アカデミック・モジュール）（注4）</td> <td>4.0以上</td> </tr> <tr> <td>TEAP（4技能）</td> <td>225以上</td> </tr> <tr> <td>TEAP CBT（4技能）</td> <td>420以上</td> </tr> <tr> <td>TOEFL iBT®テスト（注5）</td> <td>42以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注1）対象となる試験名は、以下のとおりです。                      A2 Key、A2 Key for Schools、B1 Preliminary、B1 Preliminary for Schools、                      B2 First、B2 First for Schools、C1 Advanced、C2 Proficiency                      （注2）「従来型の英検」、「英検CBT」、「英検1 day S-CBT」、「英検2 day S-Interview」を含みます。                      いずれも級の合格のみで判断し、英検CSEスコアは用いません。                      （注3）「CBTタイプ」を含みます。アセスメント版は対象としません。                      （注4）「Computer-delivered IELTS Academic」を含みます。                      （注5）TOEFL iBT®テストのTest Date スコアのみを出願スコアとして活用します。                      （My Best スコアは活用しません）。</p>		各資格・検定試験の名称	スコア・等級（適用区分：CEFR対照表 B1レベル以上）	ケンブリッジ英語検定（注1）	140以上	実用英語技能検定（英検）（注2）	2級以上	「GTEC」検定版（4技能）（注3）	960以上	IELTS（アカデミック・モジュール）（注4）	4.0以上	TEAP（4技能）	225以上	TEAP CBT（4技能）	420以上	TOEFL iBT®テスト（注5）	42以上
	各資格・検定試験の名称	スコア・等級（適用区分：CEFR対照表 B1レベル以上）																
ケンブリッジ英語検定（注1）	140以上																	
実用英語技能検定（英検）（注2）	2級以上																	
「GTEC」検定版（4技能）（注3）	960以上																	
IELTS（アカデミック・モジュール）（注4）	4.0以上																	
TEAP（4技能）	225以上																	
TEAP CBT（4技能）	420以上																	
TOEFL iBT®テスト（注5）	42以上																	
選抜方法等	<p>大学入学共通テストを免除します。                      第1次選考：書類選考とし、出願書類により総合して行います。                      第2次選考：第1次選考合格者に対しプレゼンテーションを課します。加えて面接を行い、その結果により選抜を行います。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1次選考</th> <th colspan="2">第2次選考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書類選考</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>面接</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>		第1次選考	第2次選考		書類選考	プレゼンテーション	面接	300	300	300							
第1次選考	第2次選考																	
書類選考	プレゼンテーション	面接																
300	300	300																
出願期間	令和2年9月1日(火)～9月4日(金)																	
選抜期日	第1次選考：志願書及び調査書等により選考を行います。 第2次選考：令和2年10月10日(土)、10月11日(日) ※〔予備日：10月17日(土)、10月18日(日)〕																	
合格者発表日	第1次選考結果：令和2年9月23日(水)までに郵送により通知 第2次選考結果：令和2年11月2日(月)																	
その他																		

# 私費外国人留学生選抜

No.13

実施学部・学科等名	経済学部 経済学科、システム工学部 システム工学科、観光学部 観光学科
募集人員	各学部若干名
出願資格	<p>次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者</p> <p><b>【基礎資格】</b></p> <p>次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2)外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずる者を含む。次号において同じ。）に合格した者で、令和3（2021）年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(3)外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したもの及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みのもの</p> <p>(4)外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(5)スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を外国において取得した者</p> <p>(6)ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を外国において取得した者</p> <p>(7)フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を外国において取得した者</p> <p>(8)グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を外国において取得した者</p> <p>(9)国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた外国に所在する教育施設に置かれる12年の課程を修了した者</p> <p><b>【要件】</b></p> <p>次のすべてに該当する者</p> <p>(1)日本国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く）</p> <p>(2)日本の大学において教育を受ける目的をもって、出願期間中のいずれかの期日を含み日本に入国している者</p> <p>(3)出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者及び取得できる見込みの者</p> <p>(4)独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験した者で、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC Listening &amp; Reading Test又はTOEFL Testにおける出願要件】を満たす者</p> <p>(5)TOEIC Listening &amp; Reading Test又はTOEFL Testのいずれかの成績が、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC Listening &amp; Reading Test又はTOEFL Testにおける出願要件】を満たす者</p>

出願資格	【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL Testにおける出願要件】								
	試験 学部・学科		日本留学試験					TOEIC Listening & Reading Test	TOEFL Test  iBT (インターネット試験)
			日本語	総合 科目	理科	数学	得点等		
	経済学部	経済学科	○	○	×	「コース1」	「日本語」の得点が200点以上 「総合科目」と「数学」の合計得点が240点以上	「総合科目」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450点以上
システム工学部	システム工学科	○	×	○	「コース2」	「日本語」の得点が200点以上 「数学」と「理科」の合計得点が240点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。各科目の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	410点以上	42点以上
観光学部	観光学科	○	総合科目 又は 理科 のいずれか		「コース1」 又は 「コース2」 のいずれか	各科目の得点が平均点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。「総合科目」「理科」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450点以上	42点以上
	<p>(注1) 日本留学試験の成績を利用できるのは、令和元(2019)年度の6月実施分若しくは11月実施分又は令和2(2020)年度の6月実施分若しくは11月実施分のいずれかの試験結果とします。</p> <p>(注2) TOEIC Listening &amp; Reading Testのスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること2年以内に受験した試験結果とします。</p> <p>(注3) TOEFL Testのスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること2年以内に受験した試験結果とします。Test Data Scoresのみ有効です。My Best Scoresは利用できません。</p> <p>(注4) 日本留学試験の「日本語」に関して、「記述」の得点は利用しません。</p>								
選抜方法等	日本留学試験の成績、本学が実施する面接の結果及び出願書類により総合して行います。なお、面接は日本語で行います。								
	・配点								
			日本留学試験 [令和2(2020)年6月実施分又は11月実施分のいずれか]				本学が実施する 学力検査等	配点 合計	備考
		日本語 ('記述'は除く)	総合 科目	理科	数学	面接 (日本語)			
経済学部		○ 400	○ 200	× -	○ 200	○ 1200	2000	上段の○、※印は配点対象であることを表し、下段の数字は配点を表します。 なお、日本留学試験の科目の選択、※印の「総合科目」と「理科」の選択は、【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL Testにおける出願要件】によります。	
システム工学部		○ 400	× -	○ 200	○ 200	○ 800	1600		
観光学部		○		※	○	○			
		400		200	200	800	1600		
出願期間	令和3(2021)年1月5日(火)～1月7日(木)								
選抜期日	令和3(2021)年1月31日(日)								
合格者発表日	令和3(2021)年2月7日(日)								
その他									

## 学生募集要項等の発表及び請求方法

### 1. 学生募集要項等の発表予定時期

学生募集要項等の種別		発表予定時期	備考
入学者選抜要項(本冊子)		7月下旬	web閲覧のみ
一般選抜学生募集要項(全学部在中)		秋 頃	web閲覧のみ(予定)
学校推薦型選抜学生募集要項	教育学部	8月上旬	入学願書付
	システム工学部	10月上旬	
	観光学部	10月上旬	
学校推薦型選抜・学校推薦型選抜(スポーツ)学生募集要項	経済学部	9月中旬	
社会人・帰国子女選抜学生募集要項	経済学部	9月中旬	
社会人選抜学生募集要項	観光学部	10月上旬	
総合型選抜学生募集要項	観光学部	8月中旬	
私費外国人留学生選抜学生募集要項		8月下旬	

### 2. 学生募集要項等の請求方法

※Eメールによる請求はできません。

#### (1) 本学ホームページからテレメールを利用して請求する場合

本学ホームページ(<https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>)からテレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料を請求できます。詳細は本学ホームページをご覧ください。

#### (2) 株式会社フロムページの発送サービスで請求する場合

##### ◆テレメールでの請求方法

①インターネット(パソコン・スマホ・携帯電話)又は自動音声応答電話をご利用ください。



インターネット(PC・スマホ・携帯電話)の場合		自動音声応答電話の場合	
<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a> PC・スマホ・携帯電話 各社共通アドレス		IP電話	050-8601-0101
バーコード バーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。			

※IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

②資料請求番号(6桁)を入力又はプッシュしてください。

資 料 名	資料請求番号	料金(予定)	発送開始予定日
大学案内	565842	300円	9月10日頃
学校推薦型選抜募集要項	※教育学部 585812	215円	8月20日頃

※学校推薦型選抜地域(紀南)推薦枠は、本要項には含まれていません。資料請求対象外です。

資 料 名		資料請求番号	料金(予定)	発送開始予定日
学校推薦型選抜学生募集要項	システム工学部	585832	180円	10月20日頃
	観光学部	545932	180円	10月20日頃
学校推薦型選抜・学校推薦型選抜(スポーツ)学生募集要項		経済学部	585822	9月30日頃
社会人・帰国子女選抜学生募集要項		経済学部	545912	9月30日頃
社会人選抜学生募集要項		観光学部	545942	10月30日頃
総合型選抜学生募集要項		観光学部	587832	8月30日頃
私費外国人留学生選抜学生募集要項		545922	180円	9月10日頃

※料金はお届けした資料に同封されている支払方法に従いお支払いください。  
(支払いに際して手数料が別途必要になります。)

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から3～4日程で資料が届きます。

※発送開始日以降に請求された資料は請求してから3～4日程で届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、1週間以上かかる場合もあります(お届けまでの日数は請求日の翌日を起算とします。)。なお、10日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

(2)の請求方法への問合せ先：IP電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

### (3)大学情報センター株式会社の発送サービスで請求する場合

#### ◆「モバっちょ」での請求方法

携帯電話・スマホ・パソコンから請求できます。

【URL】 <http://djcm-b.jp/wakayama-u3/>

「モバっちょ」



資 料 名	発送開始予定日	料金(予定)
大学案内	7月20日	250円

(料金の支払い方法)

パソコンから請求した場合は、クレジット払い、コンビニ後払いから選択してください。

①請求時払い：携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いができます。別途手数料50円が必要です。

※携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況により、通話料金と一緒に支払いできない場合があります。その場合、コンビニ後払いを選択してください。

- ②コンビニ後払い：資料到着後、コンビニでお支払いください。別途手数料126円が必要です。

(3)の請求方法への問合せ先：モバっちょカスタマーセンター

TEL 050-3540-5005(平日 10:00~18:00)

**(3)本学へ直接来学し入手する場合**

配 布 場 所	配 布 時 間
和歌山大学入試課(南1号館3階)	平日の午前9:00~17:00(12:00~13:00を除く)
南1号館玄関ホール(和歌山大学バス停前)	平日の上記配布時間帯以外及び土日祝日でも配布しています。



## 学部の紹介

### 1. 教育学部

教育学部は、その前身を明治期に発足した師範学校におく、本学でもっとも古い歴史をもった学部です。昭和24年（1949年）新制和歌山大学では学芸学部、その後、教育学部と学部名称は変わりますが、その間一貫して教員養成を通じて地域社会に大きな貢献をしてきました。

平成元年（1989年）に教員養成以外にも視野を広げた、教員免許状取得を目的としない新課程を設置し、組織や名称を変更しながら今日まで継承してきましたが、平成27年（2015年）入学者をもって終了し、学校教育教員養成課程に一本化しました。これは、少子化や学力低下、いじめや不登校など、深刻化し、複雑化していく諸問題に対応するため、教員養成に学部の力を集約させることを狙った改革です。これまで新課程が担った、学校の外への視点や幅広い教養を教員養成課程に取り込みつつ、これらの問題解決にあたることを考えています。

この課程には初等教育コース、中等教育コース、特別支援教育コースの3つのコースをおきます。このようにキャリアパスを明確にすることで、自分のめざすべき進路にまっすぐに向かうことができるようにしました。もっとも、それぞれのコースは相互に関連しているので、それらをつなぐ視点も大切にしています。具体的には小・中連携を中心に特別支援教育や幼児教育とつなぎます。

本学部が力を入れていることの一つに、実践力の向上があります。これは単に「即戦力の養成」というのとは少し違います。実際、多様な学校現場ですぐに役に立つ人材になるのは至難です。大切なことは、困難な教育現場にあって、日々悩みながら同僚たちと協働して子どもの支援に向かう覚悟と姿勢を準備することです。

そのためには、自主的で多様な教育経験が必要になります。教育実習はその最大のもですが、それ以外にへき地・複式教育実習のようなオプションの実習、経験豊かな現場教員の授業、さらには教育ボランティアや教育系のサークルなど課外の活動も多く用意されています。これらを通じて、悩みながら成長し続ける教員になっていけるよう支援しています。

#### 初等教育コース

このコースは児童の発達や教科のつながりなどを総合的に捉え、小中連携の視野を持った小学校教員の養成をめざします。子どもと教育に関する専門的な知識と技能を修得するとともに、教育に関するさまざまな科学・研究分野を学びます。さらに、学校教育の基本的課題のみならず今日の学校内外で多発する複雑で深刻な教育問題に対応できる、総合的で実践的な教育的力量を身につけます。

このコースでは初等（小学校）の専門性を高めるために「初等教育エキスパート科目」を設定し、教職分野の力や小学校教科の指導法及び教科内容の力をつけます。また小中連携を意識した「小中連携科目」の履修により校種間のつながりを意識した学びができます。このコースでは卒業要件として、〔小学校教員免許1種〕の取得が課せられます。本人の希望により幼稚園教員免許や中学校教員免許、高等学校教員免許、特別支援学校教員免許の取得が可能です。卒業後の進路としては、小学校を中心として、幼・中・高・特別支援学校の教員のほかに、心理職、児童施設指導員、障害者施設指導員、公務員、大学院進学などがあります。

## 中等教育コース

教科（分野）の専門性を深めつつ、中学校・高等学校教員の養成をめざします。子どもと教育に関する専門的な知識と技能を修得するとともに、学校における各教科に関する幅広く深い知識と専門的技量を修得します。さらに、文化の継承・発展という教育の基本的課題に対応できる、総合的で実践的な教育的力量を身につけます。

このコースでは教科の専門性を高めるために「中等教育エキスパート科目」を設定し、教職分野の力や中学校・高等学校教科の指導法及び教科内容の力をつけます。このコースでは卒業要件として、〔中学校教員免許1種〕の取得が課せられます。本人の希望により小学校教員免許、高等学校教員免許、特別支援学校教員免許の取得が可能です。卒業後の進路としては、中学校・高等学校を中心として、小・特別支援学校の教員のほかに、諸種の教育関係職、公務員、大学院進学などがあります。

## 特別支援教育コース

このコースでは、特別支援教育に関する専門的な知識と技能を修得します。通常の教師としての資質を高めながら、学習や発達に困難のある児童生徒や、心身に障害を有する児童生徒など、教育上特別なニーズを有する子どもの指導、支援に関する高度な専門性を身につけることが目標です。

授業では、特別支援教育に関する教育学、心理学、指導法、医療、福祉について、系統的な知識や技術を学ぶとともに、教育の時代的な変化の背景にある思潮や、教育の原理、歴史についても学習し、表面的スキルの修得に終わらない深い学びを目指します。さらに子どもと接する機会を多く設け、体験を通して学ぶことができる授業を展開しています。

このコースの卒業要件として、〔小学校教員免許1種〕又は〔中学校教員免許1種〕の取得に加えて、〔特別支援学校教員免許1種〕を取得することになります。

卒業後の進路は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員のほかに、福祉施設職員、公務員、一般企業、大学院進学などがあります。

## 2. 経済学部

本学部は、1922年（大正11年）に創立された旧制和歌山高等商業学校以来の伝統を受け継ぎ、100年近くにわたって社会に多くの優れた人材を送り出してきました。この間、時代と社会の要請にこたえながら、経済社会の理解に不可欠な学問分野である経済学、経営学、会計学、情報学、法学の教員を揃え、論理的思考力、専門知識、実務能力、幅広い教養を有する人材の養成に努めてきました。卒業後の進路は、金融・製造・流通・情報・公務など多様な業種にわたり、昨今の厳しい就職状況下でも就職率は高い水準を保っています。また、本学大学院経済学研究科修士課程に進学する学生もいます。優秀な成績を修めた学生は、3年次修了時点で大学院に進学できる制度が設けられています。

近年の多様化・複雑化する社会においては、複数の学問分野にまたがる専門知識を活用し、一人ひとりが他の人と協力しながら問題を発見・解決する能力が求められています。そのような能力・資質を身につけるために、本学部のカリキュラムは、経済学、経営学、会計学、情報学、法学の各学問領域での体系的な学修に加え、これらのうちのいくつかの学問領域の学修を組み合わせています。

す。その上で、卒業後の進路において必要となる専門知識や実務能力などを考慮して横断的な学問領域における授業科目を体系化しています。学生は初年次から将来の自分の姿を思い描きながら主体的・計画的に学修を進めます。このカリキュラムでは、学修目標とそれによって目指せる可能性のある代表的な進路を想定し、次の「プログラム」を設けています。

#### 「グローバル・ビジネス&エコノミー」

グローバルな視点から経済領域・経営領域で種々の課題に対応できる能力を身に付け、グローバル企業、国際機関、NPO・NGOなどにおいて中心的な役割を担える人材となることを目指します。

#### 「企業分析・評価」

企業の資金調達・運用から事業譲渡など、銀行の融資審査や証券会社の引受、会計事務所のコンサルティング業務、一般企業のファイナンス関連業務などで企業価値の分析及び評価を行うことができる人材となることを目指します。

#### 「ビジネスデザイン」

新たな視点から事業、企業の再活性化に取り組める能力を身に付け、企業の企画部門などにおいて、高い企画力を持って組織変革や業務改善を担える人材や、起業家などを目指します。

#### 「企業会計・税法」

会計学及び税法の視点からの実務能力を身に付け、企業の経理・財務部門において、会計・法制度の知識をもとに組織活性化の支援に取り組む人材や、税理士、公認会計士、不動産鑑定士、国家・地方公務員などを目指します。

#### 「地域公共政策・公益事業」

地域社会における課題解決能力を身に付け、地域の活性化を支援する国家・地方公務員や、公益性の高い事業主体の職員などを目指します。

#### 「サステイナブル・エコノミー」

経済における持続可能性を実現できる多様性・柔軟性を有する能力を身に付け、企業のCSR関連部門、社会的企業、環境NGO・NPOなどにおいて、多様な利害関係者と各組織の橋渡しとなれる人材となることを目指します。

## 3. システム工学部

### システム工学部システム工学科の特徴

近年、科学技術の急速な発展に伴い、さまざまな工業技術が高度化・専門化してきました。また、一方で、エネルギー、環境、情報のようにグローバルに変化する課題から地域の産業の再生や振興といった課題にも対処することが要求されるようになってきました。前者は各専門分野の分化、後者は専門分野の統合・総合化を示唆しています。

このような状況の下にある産業界や社会の要請により柔軟に対応できるよう、システム工学部で

は平成27年、これまでの5学科（情報通信システム学科、光メカトロニクス学科、精密物質学科、環境システム学科、デザイン情報学科）を1学科（システム工学科）へと改組を行いました。システム工学科には、10教育研究領域（メジャー）を設定し、学生自らが将来を志向し、自らの興味や資質に見合った領域を主体的に選択することができます。具体的には、2つのメジャーを選択することによってコースを構成し、学科に相当する専門分野を学ぶことができます。これによりこれまでの学科の枠組みに固執することなく、広範かつ柔軟な専門性をもった応用力・適用力が養われることが期待されます。以下に、各メジャーの教育目的とともにいくつかのコースを示します。

• **メジャー：機械電子制御**

機械電子制御メジャーでは、幅広い視点から論理的思考をもって問題の解決にあたることのできる技術者をめざして、機械工学、応用数学などの素養を身につけた後、制御工学、ロボット工学などのシステム論を用いた設計、運用に関する専門技術について学びます。

• **メジャー：電気電子工学**

電気電子工学メジャーでは、人々の生活や産業を支える情報のセンシングや処理システムを創造できる技術者の育成をめざして、電気電子工学や光工学の基礎と、計測デバイスや計測情報処理などの要素技術、さらにこれらを統合した技術について学びます。

• **メジャー：材料工学**

材料工学メジャーでは、物質におけるナノスケールの世界を探求し、新しい材料やデバイスの開発に対する社会のニーズに柔軟に対応できる能力を身につけられるように、物性物理学、材料科学、電子工学にわたる専門分野を学びます。

• **メジャー：化学**

化学メジャーでは、化学に関わる基本的法則を学んで物質に関する理解の基盤を作った後、ナノレベルの世界における化学現象や法則、原子・電子レベルでの相互作用の発現や、新たな機能性物質の設計・開発などの専門技術について学びます。

• **メジャー：知能情報学**

知能情報学メジャーでは、人間とコンピュータの新たな関係が再構築される時代において、情報技術の素養を身につけた科学者や技術者として活躍できる人材となることを目標とし、人工知能やロボット、視覚情報処理、コンピュータグラフィクスなどについて学びます。

• **メジャー：ネットワーク情報学**

ネットワーク情報学メジャーでは、インターネット上に構築される、新たな情報ネットワーク社会において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、モバイル通信やWebシステム、ビッグデータの解析などについて学びます。

• **メジャー：環境科学**

環境科学メジャーでは、環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破

壊を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。

• **メジャー：環境デザイン**

環境デザインメジャーでは、人と自然のよりよい関係を具現化できる人材の育成をめざして、自然から生活空間にいたる環境を一体として捉え、自然再生、防災緑化、自然エネルギーなど自然と調和する技術、景観保全やまちづくり、建築設計などの計画技術について学びます。

• **メジャー：メディアデザイン**

メディアデザインメジャーでは、メディアデザインと情報の双方の知識を持つ人材の育成をめざして、情報技術としてのサウンドやビジュアルのデザイン、人間工学に基づくインタフェースデザイン、さらにその基礎となるデザイン制作や企画方法について学びます。

• **メジャー：社会情報学**

社会情報学メジャーでは、人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探求するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。

代表的なコースとそれを構成するメジャー、期待される就職先

コース名	メジャー名	期待される就職先
ロボティクス	機械電子制御 電気電子工学	機械、電機、自動車、精密機械
ナノテクノロジー	材料工学 化学	半導体・電子部品、精密機器、 化学・医薬品・化粧品、素材
コンピュータサイエンス	知能情報学 ネットワーク情報学	情報・通信、ITサービス、電機
デザインシステム	社会情報学 メディアデザイン	情報・通信、ITサービス、出版・印刷
環境システム	環境デザイン 環境科学	公務員（土木、建築、造園）、建築・住宅、 環境プラント
環境化学	環境科学 化学	環境職公務員、環境測量士
ナノエレクトロニクス	材料工学 電気電子工学	電気電子メーカー、精密機械
知能機械システム	機械電子制御 知能情報学	自動車、電機、精密機械、生産機械、医療機器、 情報通信産業、ゲーム・アミューズメント
ネットワーク社会システム	ネットワーク情報学 社会情報学	情報通信、サービス産業、 ゲーム・アミューズメント

○システム工学部では、スーパーサイエンスティーチャープログラムを設けます。これはシステム工学部卒業後、本学教育学研究科専門職学位課程（教職大学院）に進学し中学校理科の教員免許の取得を目指すプログラムです。

## 4 . 観光学部

21世紀は「観光の時代」。世界のあらゆる国や地域で最も有望な成長分野として注目されるのが観光です。日本においても観光は戦略産業と位置づけられ、官民一体での「観光立国」実現に向けた政策や取組が加速するなか、観光産業や行政の現場と密接に連携しながら、新しい観光学の創造及び観光を支えるに相応しい豊かな教養と専門性、さらにはグローバル時代に対応したハイレベルな国際的・学際的視点を有する観光人材の輩出がますます期待されています。和歌山大学観光学部は、観光教育研究における日本の、そしてアジアの拠点として、これらの人材養成に応えるべくさらに進化します。

### 観光学部の特色

- ①観光学は人間の生活・文化に関わるあらゆる分野を総合した学問であることから、人文・社会科学から自然科学までの幅広い分野を融合的・横断的に学ぶことのできる充実したカリキュラムを用意しています。
- ②最先端の観光理論を学ぶことはもちろん、教員と学生が自治体と連携して地域課題の解決に取り組むプログラムや海外の連携大学等と共同で取り組むエリアスタディ等の機会を通じて、社会の各方面から即戦力として期待される実践力が身につきます。
- ③ハイレベルな観光人材に相応しい教養の醸成を重視し「観光プロデュース論」「日本文化演習」などユニークな実践科目を配置するほか、グローバル・プログラムの導入を通じて国際化時代における言語面でのバリアフリー化を進めます。

入試に関する問合せ先

# 和歌山大学

## 《一般選抜照会先》

入試課

〒640-8510 和歌山市栄谷930

TEL 073-457-7117

## 《特別選抜及び学部照会先》

【教育学部】	学務課 学部支援室 教育学部係	TEL 073-457-7219
【経済学部】	学務課 学部支援室 経済学部係	TEL 073-457-7805
【システム工学部】	学務課 学部支援室 システム工学部係	TEL 073-457-8021
【観光学部】	学務課 学部支援室 観光学部係	TEL 073-457-8542

### 〈注意〉

- ・入学者選抜に関する全ての事項は、志願者本人がこの選抜要項及び各学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この入学者選抜要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「入試情報」(<https://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>)でお知らせします。
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く、月～金曜日の9時から17時(12時から13時は除く)に、この選抜要項及び各学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。